

デマンド交通の実証実験について

高齢社会の進展や家族送迎の負担など、市民の暮らしにおける移動の需要は多様化しており、公共交通の重要性はさらに高まっている。

本市では、主に中学校区が地域の生活圏となり、地域内での移動と刈谷駅周辺の中心部への移動需要が高い傾向がある。

本市北部地域は、市中心部へ移動する幹線バス路線は整備されているが、東西を移動する公共交通がないことや、大型車両の走行が難しい狭あい道路が多く、他の地域と比べて公共交通（鉄道・バス）利用圏域のカバー率が特に低いことが交通課題となっている。また、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛の影響もあり、フレイル予防の必要性や人と人の交流、地域経済の活性化など、市民の暮らしと地域社会を支え、発展させていく取組が求められている。

これらの課題に対して、地域内交通としてデマンド交通機能を導入することで公共交通のカバー率が低い北部地域内において、買い物や通院など市民の生活に必要な移動手段を確保するとともに、高齢者等の外出を促進し、健康増進や交流とにぎわいの創出を図ることで、活気のある地域づくりに寄与できるものと考え、北部地域において実証実験を実施する。

1 実証実験の目的

- (1) 公共交通（鉄道・バス）利用圏域のカバー率が低い北部地域への地域内交通としての移動手段の確保と機能の検証
- (2) 外出機会の創出に繋がる取組の効果の検証
- (3) 幹線路線と地域内交通の乗継に関する取組とその検証

2 実証期間

1期：令和5年11月～令和6年11月

2期：令和6年11月～令和7年3月

※実証運行は、道路運送法第21条第2項に定める乗合旅客運送により実施する。

実証運行期間終了後の運行については、道路運送法第21条第2項による実証運行延長、道路運送法第4条（区域運行）による運行等の実施について協議する。

3 運行区域

(1) 国道1号以北の市域及び富士松駅、富士松支所（富士松市民センター）



(2) 運行区域の選定理由 【参考】資料4-2

- ①高齢者比率が最も高い。
- ②公共交通（鉄道・バス）利用圏域のカバー率が最も低い。
- ③公共交通（鉄道・バス）利用圏域内の主要施設（医療・商業・教育・高齢福祉施設等）の立地率が最も低い。
- ④国道1号以北の公共交通は南北を移動するバス路線のみで、東西を移動する公共交通がない。
- ⑤生活道路は狭い道路が多く、大型車両の運行が難しい。
- ⑥国道1号以北は人口密度が低く、既存集落が多く点在している。
- ⑦タクシー事業所が市内中部にあり、配車に時間を要する。
- ⑧富士松駅及び富士松支所は、当該地域住民にとって重要な交通結節点ならびに行政機関である。

⇒北部地域の課題解決のため、地域内交通の手段としてデマンド交通導入に向けて実証する。

4 運行システム

(1) システム概要

チョイソコ…株式会社アイシンによる送迎サービス

会員登録された利用者から乗車依頼を受け付け、最適な乗合わせと経路を計算し、指定された場所で乗降できる送迎サービス。

(2) 採用理由

- ①インターネット予約とコールセンターによる電話予約が可能であり、高齢者などのデジタル機器の使用が難しい方にも配慮した体制を整えていること。
- ②チョイソコ通信による情報発信やイベントを企画、実施し、高齢者等の外出機会を促進することで、健康増進や交流とにぎわいの創出を図ることができること。
- ③民間企業の企画や技術・ノウハウを活用し、協賛事業者を募り、また連携することで、採算性と共創による取組ができること。

⇒チョイソコは、本市の目指す施策の方向性と合致しており、これらの取組を同時に行っているデマンド交通の仕組みであること及び全国や県内、近隣市町においてその実績があることから、チョイソコの導入を進める。